

# 財務諸表に対する注記

当期から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用しております。

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しておりません。

## 2. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……総平均法による原価法を採用しております。

但し、債権金額より高い価額若しくは、低い価額で取得している場合で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法を採用しております。

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。

時価のないもの……総平均法による原価法を採用しています。

### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
なし				
小計	0	0	0	0
特定資産				
学術奨励基金	148,203,632	0	23,000,000	125,203,632
海外留学助成基金	174,323,000	0	6,289,159	168,033,841
会議・研究助成基金	90,090,000	1,900	35,970	90,055,930
国際交流特定資産	9,625,084	0	9,625,084	0
管理事業基金	28,000,000	0	0	28,000,000
小計	450,241,716	1,900	38,950,213	411,293,403
合計	450,241,716	1,900	38,950,213	411,293,403

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	〔うち指定正味財 産からの充当額〕	〔うち一般正味財 産からの充当額〕	〔うち負債に 対応する額〕
基本財産 なし				
小 計	0	(0)	(0)	(0)
特定資産				
学術奨励基金	125,203,632	(125,203,632)	(0)	(0)
海外留学助成基金	168,033,841	(168,033,841)	(0)	(0)
会議・研究助成基金	90,055,930	(90,055,930)	(0)	(0)
国際交流特定資産	0	(0)	(0)	(0)
管理事業基金	28,000,000	(28,000,000)	(0)	(0)
小 計	411,293,403	(411,293,403)	(0)	(0)
合 計	411,293,403	(411,293,403)	(0)	(0)

5. 指定正味財産から一般正味財産額への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益の振替	526,878
経常外収益への振替額	0
合 計	526,878